

# 地域枠の状況等について

# 地域枠履行状況等調査について（平成30年11月28日確定版）

- 全国の都道府県を対象として、自県が奨学金を貸与する地域枠等の医学部生・医師の勤務状況等を調査した。

## 調査手法

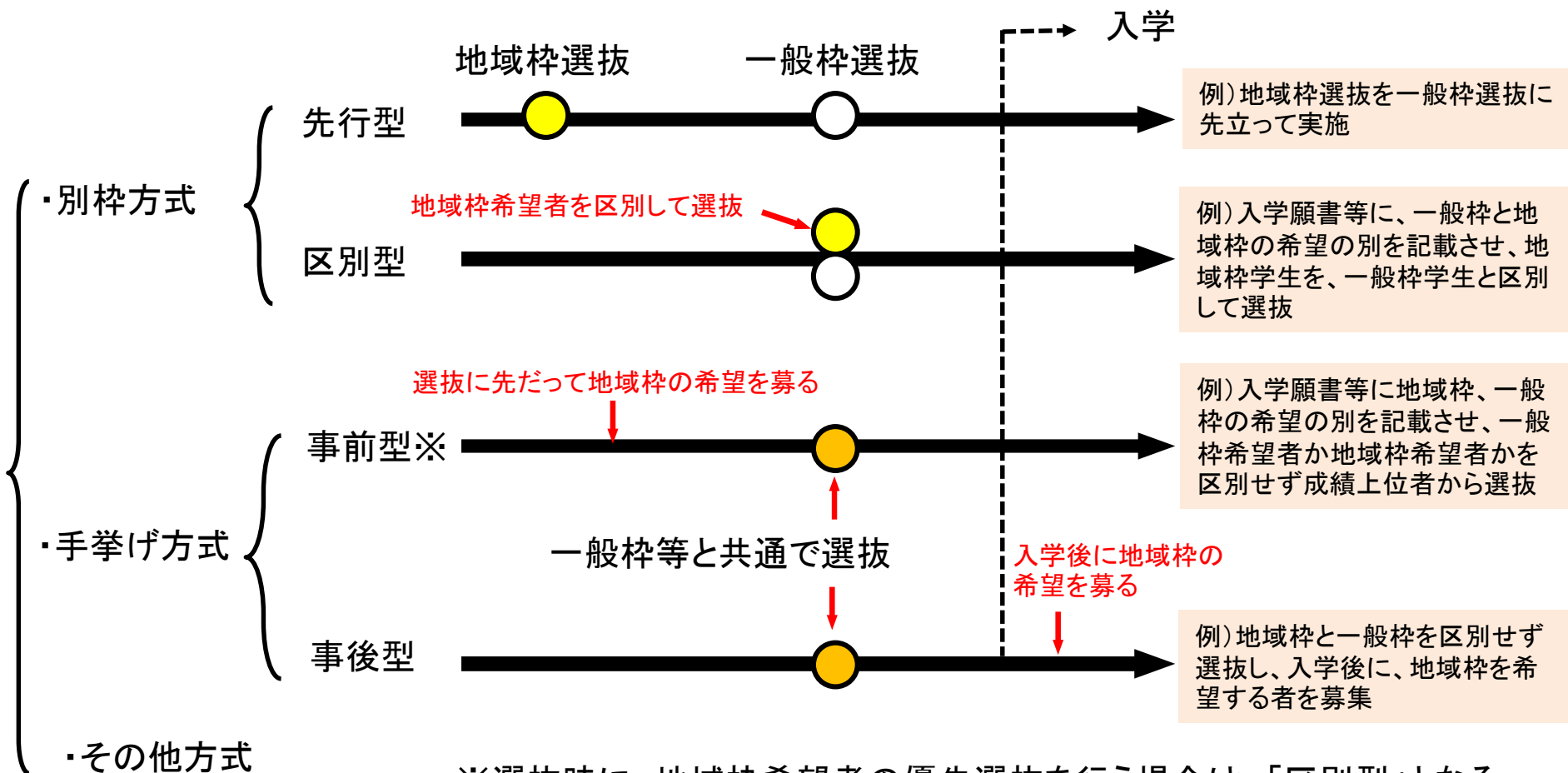
- ✓ 厚生労働省から47都道府県に対し、平成20年度以降に設置された地域枠等についてのアンケートを実施した。
- ❖ 回答者： 都道府県
- ❖ 調査期間： 平成30年9月～10月

## 基礎的データ

- ❖ 回答率： 100%

# 地域枠学生選抜方法の類型

- ✓ 地域枠学生の選抜方法については、一般枠と別枠の募集定員を設ける「別枠方式」と、一般枠等と共通で選抜し、事前又は事後に地域枠学生を募集する「手挙げ方式」とに大別される。
- ✓ さらに、別枠方式については、一般枠に先行して選抜する「先行型」、一般枠と同時に選抜するものの、地域枠希望者を一般枠等とは区別して選抜する「区別型」、手挙げ方式については、選抜に先だって地域枠の希望を募る「事前型」、入学後に地域枠の希望を募る「事後型」がある。



※選抜時に、地域枠希望者の優先選抜を行う場合は、「区別型」となる。

## 調査の結果(地域枠設置の状況)

- 都道府県別、大学別の臨時定員と組み合わせた地域枠、それ以外の地域枠の設置状況※については、以下の通り。
- それぞれ、県内の特定の地域又は地域と診療科の両方における診療義務がある。

	H30募集数	プログラム数
臨時定員に係る地域枠	1014 (うち臨時定員903)	116
上記以外の地域枠	165	17
全体	1179	133

選抜方法	H30募集数	プログラム数
別枠方式(先行型)	365	40
別枠方式(区別型)	323	36
手挙げ方式(事前型)	156	25
手挙げ方式(事後型)	305	30
その他方式	30	2
全体	1179	133

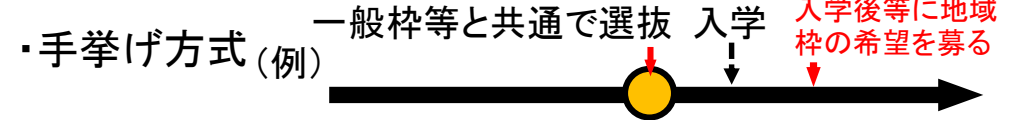
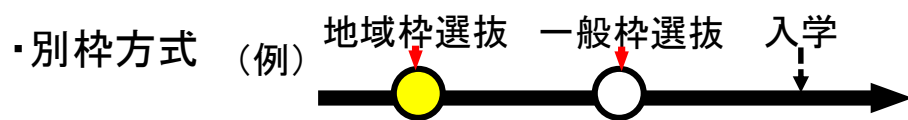
診療義務	H30 募集数
特定の地域	966
(特定の診療科)	213
全体	1179

※ 平成20年度以降に設置されたものに限る

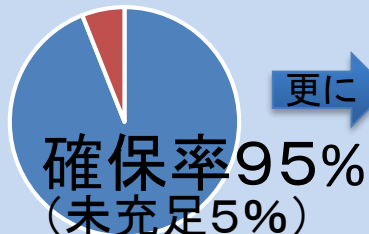
## 調査の結果(臨時定員関係)

- 臨時定員関連の地域枠についても、別枠方式の場合、募集数の95%に奨学金貸与実績があるのに対し、手挙げ方式だと69%しか貸与実績がない。
- 離脱の状況についても、別枠方式の場合、94%が義務履行すると推定されるのに対し、手挙げ方式だと84%しか義務履行されないと推定される。

臨時定員関係	募集数	貸与実績	貸与実績%	離脱者数	人年	離脱率(人年%)	義務年限終了までの推定義務履行率%
別枠方式(先行型)	3,012	2,912	97%	56	15,048	0.37%	95%
別枠方式(区別型)	2,364	2,173	92%	44	10,487	0.42%	94%
<b>別枠方式(合計)</b>	<b>5,376</b>	<b>5,085</b>	<b>95%</b>	<b>100</b>	<b>25,535</b>	<b>0.39%</b>	<b>94%</b>
手挙げ方式(事前型)	891	667	75%	46	3,226	1.43%	81%
手挙げ方式(事後型)	2,689	1,811	67%	106	9,523	1.11%	85%
<b>手挙げ方式(合計)</b>	<b>3,580</b>	<b>2,478</b>	<b>69%</b>	<b>152</b>	<b>12,749</b>	<b>1.19%</b>	<b>84%</b>

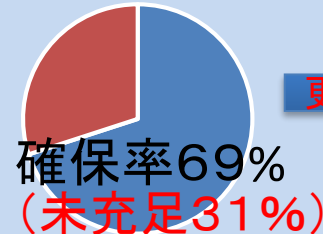


貸与実績/募集数=5085/5376 (平成20~30年度通算)



更に → 卒後9年後の推定離脱率6%  
(年間離脱率0.39%、通算離脱者数100人)

貸与実績/募集数=2478/3580 (平成20~30年度通算)



更に → 卒後9年後の推定離脱率16%  
(年間離脱率1.19%、通算離脱者数152人)

## 調査の結果(別枠方式・地元出身者限定の有無)

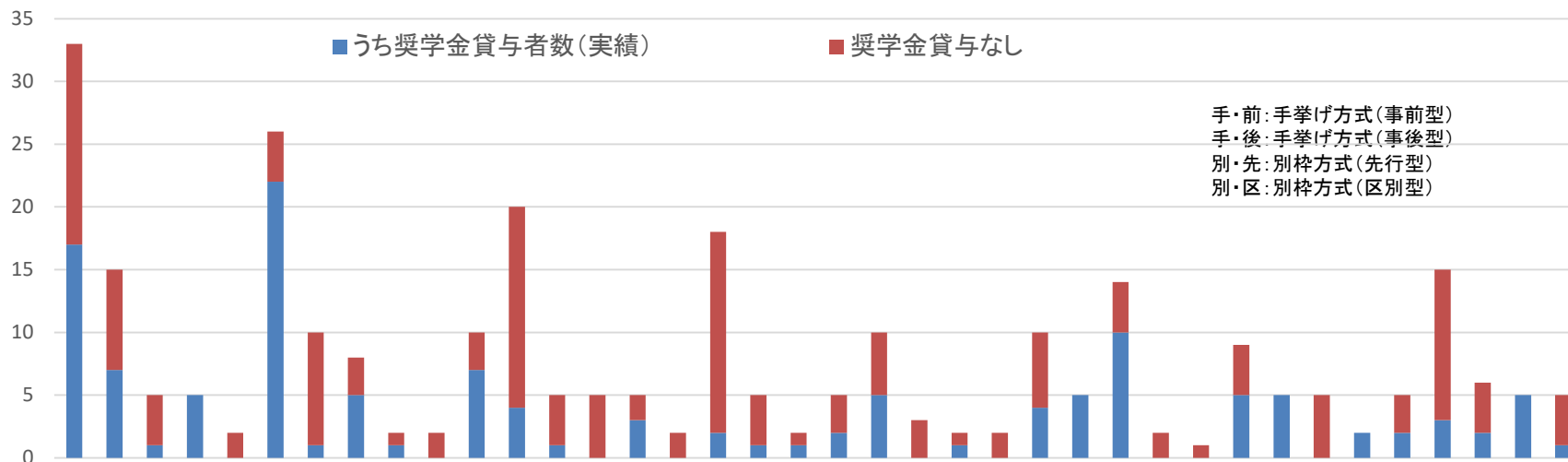
- 臨時定員関係の地域枠について、別枠方式の地域枠を地元出身者限定の有無別に集計すると、地元限定ありの地域枠の方が奨学金貸与実績・離脱率ともに成績が良いが、地元限定でなくても、別枠方式(先行型)については、医師偏在対策として同等程度の効果があると考えられる。
- また、別枠方式(区別型)についても、手挙げ方式に比べると、比較的良好な効果があると考えられる。

	臨時定員関係	募集数	貸与実績	貸与実績%	離脱者数	人年	離脱率(人年%)	義務年限終了までの推定義務履行率%
地元限定あり	別枠方式(先行型)	2122	2052	97%	32	10426	0.31%	95%
	別枠方式(区別型)	1473	1366	93%	18	6766	0.27%	96%
	別枠方式計	3595	3418	95%	50	17192	0.29%	96%
地元限定なし	別枠方式(先行型)	890	860	97%	24	4622	0.52%	92%
	別枠方式(区別型)	891	807	91%	26	3721	0.70%	90%
	別枠方式計	1781	1667	94%	50	8343	0.60%	91%

# 調査の結果(選抜枠による充足・離脱の状況)

○ 平成30年の臨時定員の増員と関連する地域枠についても、貸与実績が悪いプログラムが多くあり、地域枠が充足していない状況がある。

※充足率が8割未満の同じ都道府県・大学のプログラムを抽出



手・前:手挙げ方式(事前型)  
手・後:手挙げ方式(事後型)  
別・先:別枠方式(先行型)  
別・区:別枠方式(区別型)

都道府県	宮城県		山形県		福島県		茨城県				栃木県		千葉県		神奈川県		山梨県		長野県		静岡県		滋賀県		大阪府		兵庫県		奈良県		和歌山県		鳥取県		広島県		山口県		香川県		福岡県		佐賀県		長崎県		熊本県	
	東北大学	山形大学	帝京大学	筑波大学	東京医科大学	杏林大学	北里大学	獨協医科大学	千葉大学	帝京大学	北里大学	東海大学	北里大学	信州大学	近畿大学	帝京大学	順天堂大学	滋賀医科大学	近畿大学	岡山大学	近畿大学	近畿大学	鳥取大学	岡山大学	鳥取大学	岡山大学	鳥取大学	岡山大学	鳥取大学	岡山大学	久留米大学	佐賀大学	長崎大学	川崎医科大学	熊本大学													
区分	手・後	手・後	手・後	手・後	別・先	別・区	別・区	別・区	別・区	手・前	別・区	手・後	手・前	手・後	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後	手・前	手・後					
当該プログラム募集定員数	33	15	5	5	2	26	10	8	2	2	10	20	5	5	5	2	18	5	2	5	2	5	10	3	2	2	2	10	5	14	2	1	9	5	5	5	2	5	15	6	5	5						
うち奨学金貸与者数(実績)	17	7	1	5	0	22	1	5	1	0	7	4	1	0	3	0	2	1	1	2	5	0	1	0	4	5	10	0	0	5	5	0	2	2	3	2	5	1										
充足率	52%	47%	20%	100%	0%	85%	10%	63%	50%	0%	70%	20%	20%	0%	60%	0%	11%	20%	50%	40%	50%	0%	50%	0%	40%	100%	71%	0%	0%	56%	100%	0%	100%	40%	20%	33%	100%	20%										
臨時定員	28	15		2	36		5	2	2	10	15	5	5	5	2	15	5	2	5	10	3	2	2	10	17		2	1	14		5	7	15	6	10													

## 調査の結果(臨時定員関係以外の地域枠を含めた全体)(参考)

- 臨時定員関係以外の地域枠を含めた全体だと、別枠方式の場合、募集数の89%に奨学金貸与実績があるのに対し、手挙げ方式だと60%しか貸与実績がない。
- 離脱の状況については、別枠方式の場合、93%が義務履行すると推定されるのに対し、手挙げ方式だと82%しか義務履行されないと推定される。

全体	募集数	貸与実績	貸与実績%	離脱者数	人年	離脱率(人年%)	義務年限終了までの推定義務履行率%
別枠方式(先行型)	3,381	3,137	93%	77	16,433	0.47%	93%
別枠方式(区別型)	2,609	2,200	84%	49	10,714	0.46%	93%
<b>別枠方式(合計)</b>	<b>5,990</b>	<b>5,337</b>	<b>89%</b>	<b>126</b>	<b>27,147</b>	<b>0.46%</b>	<b>93%</b>
手挙げ方式(事前型)	1,160	670	58%	47	3,237	1.45%	80%
手挙げ方式(事後型)	3,581	2,185	61%	159	12,014	1.32%	82%
<b>手挙げ方式(合計)</b>	<b>4,741</b>	<b>2,855</b>	<b>60%</b>	<b>206</b>	<b>15,251</b>	<b>1.35%</b>	<b>82%</b>